

「技術委員会・第25回報告会」のご案内

主催：(一社)日本建築構造技術者協会
技術委員会

技術委員会では、毎年各部会の活動成果がまとまった段階で技術報告会を開催しています。今回は、耐火設計部会から「準耐火木造「火災時・避難時倒壊防止性能検証法」計算シート解説と今後」、非構造部材部会から「非構造部材の構造安全性確保に向けて」と2部会から報告させていただきます。報告会は、現状の各部会の活動報告の場であるとともに、現在の活動に対して意見交換をする場としており、今後の活動に皆様の意見を反映させて技術委員会の活性化を図れるものと考えています。

多数の参加をお待ちしています。

記

■耐火設計部会 テーマ：「準耐火木造「火災時・避難時倒壊防止性能検証法」計算シート解説と今後」

講演者：染谷朝幸 他

概要：2015年と2018年に改正された「火災時・避難時倒壊防止性能検証法」を用いることで、今まで耐火木造でしか建築ができなかった用途においても、延床や階数によっては準耐火構造で可能になり、現しの「木」を使うことが可能となりました。JSCA 耐火設計部会は本検証法解説書において設計例を担当しており、今回、設計例に用いた計算 EXCEL シートを会員に公開することで、会員皆さまで新たな木造の設計や新たな建築表現に貢献できればと考えています。なお、今回は本手法解説と共に、今後発刊予定の「耐火グレーゾーン Q&A 集」についても触れます。防火耐火の興味につながれば幸いです。

■非構造部材部会 テーマ：「非構造部材の構造安全性確保に向けて」

講演者：土屋博訓 他

概要：今回の報告は、4部構成としています。最初に、構造技術者にとって疎遠になりがちな非構造部材について、構造安全性の確保に向けた JSCA 提案の紹介を交え、改めて概要を説明します。次に、天井については、2022年3月の福島県沖の地震や2024年1月の能登半島地震での被害状況を踏まえ、耐震設計や定期点検の重要性を、また「見落としてはならない非構造部材」として2020年第18回の報告会では説明できなかった設備機器とエスカレーターについて、2016年の告示改正の紹介を織り交ぜながら設計で留意すべき事項を解説します。最後に、非構造部材部会の取り組みとして行っている「Q&A 形式による情報発信」を紹介します。Q&A 形式で情報発信することにより、会員が必要な情報を素早く簡単に検索できる環境を整えることを目的としています。

日時：2025年10月29日(水) 14:00~17:20

会場：オンライン (Zoom ウェビナー)

参加費：会員1,000円、非会員2,000円

定員：オンライン400名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

申込締切：2025年10月23日(金) 17:00

構造士更新：JSCA 建築構造士登録更新のための評価点申請中。

CPD制度：建築 CPD 情報提供制度対象講習会申請中

オンライン参加の場合、それぞれ所定の時間を聴講したとみなされた参加者が対象となります。確実に付与されるよう参加者自身でネット環境の事前確認を十分に、当日は余裕をもってアクセスし、切断等の障害が発生しないようにして下さい。

申込方法：デジタルチケット購入形式

ご自身の申込区分を確認の上、以下 URL または QR コードから、該当する受講料分のデジタルチケット(※)を購入して下さい。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02v7h16hp1q41.html>

